本丸跡の発掘調査では、沼田城の地面が発見された

沼田公園の園路の 60cm 下に沼田城が眠っている――

利根英霊殿前

沼田城の争奪と普請の歴史年表

1532 年頃	沼田氏が倉内城を築く
1556 年頃	北条氏の支配下に
1560 年	上杉氏の支配下に（上杉氏の越山）
1578 年	上杉氏の内紛（御館の乱）に伴い北条氏支配下に
1580 年	武田氏の支配下に
1583 年頃	真田昌幸による整備。本丸御殿、奥御殿、台所、大門、石垣、堀、土手、枡形（入口）、二・三の丸、門などを整備【天正期整備】
1589 年	豊臣秀吉の沼田領裁定により北条氏の支配下に 北条氏が名胡桃城を奪取（名胡桃城事件）
1590 年	北条氏滅亡、沼田城は真田氏支配下に
1596 年頃	真田信之による整備。天守、西三階櫓、表三階櫓、水手門、三・四ノ丸、土手、総堀、枡形（入口）などを整備【慶長期整備】
1658 年	真田信直（信利）による整備。本丸嵩上げ、天守建替え、石垣、門などの修復【万治・寛文期整備】
1681 年	真田氏改易
1682 年	沼田城破城
1703 年	本多氏が沼田藩主に就任 本多氏による大手門、枡形（入口）、塀、堀、土手などの改修、三の丸に屋形を設置
1732 年	黒田氏が沼田藩主に就任
1742 年	土岐氏が沼田藩主に就任
1871 年	廃藩置県
1916 年	久米民之助による公園整備

調査で分かったこと

1 沼田城の姿は、地下に良好に保存されている

沼田公園の造成の際に破壊された部分がある一方、造成土で覆われてよく保存されている部分もあることが分かりました。また市街地には堀跡が痕跡を留めていたり、埋め立てられているものの、調査により位置や規模が確認できたりするなど、市街地の中に城の痕跡がよく残されています。

西櫓台で発見された墨書のある石材には、「石三つ由良　爰送也」と思われる文字が。「由良」は、太田金山城を拠点とした由良氏だろうか。由良氏は、北条氏に従っており、北条氏の命で沼田城の普請のために石材を送ったことを示すと考えられる。沼田城において、真田氏以外による普請が行われたことを示すといえる。

2 真田氏による沼田城整備は大きく3回行われた

文献史料の調査から、真田氏による沼田城整備は、天正期（1581～1589）、慶長期（1596～1612）、万治・寛文期（1658～1678）に、大きく3回行われたと整理しました。発掘調査でも整地した盛土が確認されており、大規模な整備が繰り返されている状況が読み取れました。また、北条氏や上杉氏が沼田城を支配している期間には、それぞれが整備を加えていることがうかがえます。例えば、軍事的緊張が高まった名胡桃城事件の際には、北条氏は盛んに沼田城の守備を固めるための普請を指示し、大鉄砲を配備しています。

沼田城跡には、争奪と普請の歴史が積み重なっており、こうした沼田城の持つ複雑な歴史背景が、沼田城の構造を捉えることを難しくさせています。

来月号に続きます

最新の調査成果を交えてご紹介

歴史資料館第 28 回企画展

重なる沼田城
－戦国時代の争奪と真田氏による普請の歴史－

関連イベントも盛りだくさん！

→詳細は 6 ページをご覧ください

問合 文化財保護課埋蔵文化財調査センター☎ 25-3643